

## ●年齢問わず楽しめる

耳川流域で、家族のレジャーランドとして今最も親しまれているのが「石峠レイクランド」である。温泉、レストラン、多彩な遊具、コテージ、そして遊覧船もあり、年齢を問わずに楽しめる。

日向市から国道327号で約三十分。耳川の九州電力・大内原ダムの約1.5km上流、国道からは対岸の西郷村石峠（いしとうげ）にあり、ダム湖を利用して2000（平成十二）年四月オープンした。運営は第三セクターの「レイクランド西郷」。

豊かな水量のダム湖と河畔林の緑がうまく溶け合い、癒やしの空間を形成している。特徴は家族のニーズをうまくつかんでいること。お年寄りには温泉でくつろぎ、その間、親子で遊び、一緒に食事を楽しむ。ここではみんながゆつくと、低料金（遊園地は無料）で楽しめるよう

配慮されており、地元によさしい施設となっている。耳川流域を中心によそからも訪れる家族連れなどが多い。

遊具は子供向けに年齢に応じて工夫されている。例えば、滑り台は幼児用から小学生高学年用まで傾斜を変えたりしながら、子供たちがチャレンジしていけるようになっていく。これが子供たちにはたまらなく楽しいらしい。

温泉は「西郷温泉美々川」。露天風呂からのダム湖の眺めは絶妙。宿泊施設としてコテージも十二棟あり、温泉を引き入れている。大人四人用のベッドをそろえ、料金は四十一万一千二百円、十二月一万円。夏や秋の行楽シーズンには予約が相次いでいる。

ダム湖に浮かぶ遊覧船もそう快。十三人乗りが二隻あり、湖の周囲を約二十分運航している。レストラン「湖畔」の食事も安価。特にうどん

は人気がある。

レストランには地元の農産物もそろっている。最近販売を始めたのがナシのワイン。「神子（みこ）」という名前を付け、地元産のナシを使って醸造。後味がよく、うまみが長い間のどに染み渡る、と好評という。秋になると、近隣の農家ではナシ狩りが盛んに行われる。ナシワインは新しい西郷村の土産物として期待されている。

近年の村おこし施設は、よそからの観光客誘致に主眼を置いているものが多いが、ここはまず地元へのレジャー提供を基本にしており、それがファンの確実な増加につながった。南郷村の百済の里づくりなども連携していけば、これからの展望は明るい。

永松 敦



ダム湖のほとりにレジャー施設が広がる。  
心身ともにゆつくり楽しめる